

(2) 特色ある教育活動

ア 生活科・総合的な学習の時間を中心に「つながり」「かかわり」をキーワードとし「環境」「命と人権」「伝統文化」「地域」の4つの柱でESDを推進する。

- ・地域の方や外部講師、地域と関係の深い学習素材とのつながり、かかわりによる発展学習によって、多面的、総合的に考える力を身に付けさせる。

【環境】

- ・清明林や下宿ビオトープ公園の観察学習、柳瀬川体験学習等、地域の豊かな自然を活用した環境学習で自然環境を守るためにできることを考え自らの生活や行動に生かす力を育成する。総合的な学習の時間3年生「大すき！清瀬」4年生「柳瀬川の自然を調べよう」5年生「柳瀬川の自然を守ろう」、生活科の時間1年生「生きものとなかよくなろう」「きせつとあそぼう」で時数を各8時間増やし取り組む。

【命と人権】

- ・人権課題「高齢者」において「認知症サポーター養成講座」やディサービス「なないろ」「清雅苑」との交流を通し、共に助け合って生きようとする態度を育む。
- ・人権課題「障害者」の「きらり教室出前授業」や「車いす体験」、また人権課題「性的指向」においては「LGBTQの学習」を通し、共に理解し合って生きようとする態度を育む。
- ・命の学習として「赤ちゃんプロジェクト」「食育」「柳瀬川体験学習」を通し、自他の命を大切にすな主体的な態度を育む。

【伝統文化】

- ・「下宿囃子」「ふせぎ行事」について、地域の方々から話を聞いたり、体験したりすることを通し、伝統文化を受け継ぎ、郷土愛を育む学習を充実させる。

【地域】

- ・学校支援本部、清瀬市コミュニティハウスNPO法人きよセラボと協働し地域人材の活用、地域との連携により教育力の向上を図る。6年生の総合的な学習の時間「清瀬のよさをPRしよう」を12時間、生活科2年生「町たんけん」で8時間プラスして取り組む。

イ 基礎基本の充実を図る。

【パワーアップタイムの充実】

- ・算数の補習学習「パワーアップタイム」を年間14～18単位時間設定する。習熟度別に6つのクラスに分け、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

【読書活動の充実】

- ・学校図書館支援員を全学級隔週で図書の時間に配置し、学校図書館年間活動計画に沿って、読み聞かせ、ブックトーク等を実施し、読書活動の充実を図り、豊かな心を育む。

【言語能力の向上】

- ・国語の時数を全学年6時間プラスし、5時間は行事作文を書く時間を設け書く力の伸長を図る。1時間は全校で一貫した指導を行うために話し方、聞き方や話し合い方のきまりを知る時間に充てる。
- ・全校で授業後の振り返りを行い、分かったことや気づき等を文で書かせることや、月1回、朝学習の短作文を実施し、書く力を伸ばす。